

河合栄治郎 経済学者、社会思想家。徹底した自由主義者で、青年に感銘与えるも、発禁、休職となり急死した。

かわいえいじろう

足尾鉞毒始・1891 = 東京府北足立郡千住で酒類商の次男に生まれた。

日清戦争始・1894 = 3歳 :

マルクス主義+ファシズムとも反対の

ビアノ国産化・1900 = 9歳 :

日露戦争終・1905 = 14歳 :

伊藤博文暗殺1909 = 18歳 :

明治天皇没・1912 = 21歳 : 第一高等学校を経て、

21ヶ条要求・1915 = 24歳 : 東京帝大法科政治学科卒業後、農商務省に入って工場法の施行に従事、

本格政党内閣1918 = 27歳 : 工場法研究のためアメリカに出張し、

ベルサイユ条約・1919 = 28歳 : 帰国して工場法草案を起草したが、上司と意見が対立して辞職、{朝日新聞}にいきさつを发表。

大暴落・・・1920 = 29歳 : 東京帝大経済学部助教授に迎えられ、社会政策を講義する。「労働問題研究」。

原敬首相暗殺1921 = 30歳 :

水平社結成・1922 = 31歳 : イギリスに留学。留学中T.H.グリーンを研究し、理想主義哲学の上に独自の社会思想を樹立、人格成長の条件として政治的には自由民主主義、経済的には社会主義を主張。

関東大震災・1923 = 32歳 : 「社会思想史研究」。

治安維持法・1925 = 34歳 : 帰国して、

円本時代始・1926 = 35歳 : *教授に昇任。

金融恐慌・・・1927 = 36歳 :

世界恐慌・・・1929 = 38歳 : マルクス主義が隆盛になるや、理想主義の立場からこれを批判し、翌年にかけて森戸辰男と「大学の顛落」論争をする一方、文部省の思想文献編纂調査会に出席、海軍軍縮条約1930 = 39歳 : 「T.H.グリーンの思想体系」。

満州事変・・・1931 = 40歳 : 「社会政策原理」。*文部省の学生思想問題調査委員会の委員になる。

五一五事件・1932 = 41歳 : マルクス主義研究のため、翌年にかけてドイツに留学し、ナチスの台頭を目のあたりにし、満州事変後の国家主義の台頭に際しては同じ立場からこれを批判した。

帝人疑獄事件1934 = 43歳 : 「日本ファシズム批判」、

二二六事件・1936 = 45歳 : *青年の教育にも情熱を傾け、「学生と教養」をはじめとする{学生叢書}を編集、青年に感銘を与える。二・二六事件のときは軍部を攻撃し、東大内では国家主義的革新派教授と大学自治の問題で争い、

日中戦争始・1937 = 46歳 :

健保+総動員 1938 = 47歳 : その結果、著書の一部が発売禁止になり、

第二次大戦始1939 = 48歳 : *休職処分となって、起訴された。

創価学会検挙1943 = 52歳 : 結局、大審院で罰金刑が確定(河合事件)。

年金+総武装 1944 = 53歳 : 戦時体制下、沈黙を強いられたまま、病気で急死した。